



令和元年度 徳倉小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

11月14日（木）に開催された「令和元年度徳倉小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日のご発言やご意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

なお、アンケートに記載してありました『地域支え合い会議』のご案内につきましては、地域包括ケア推進課より送付いたします。

■開催概要■

| | | | |
|------|---|--|---|
| 日 時 | 令和元年11月14日（木）19:00～20:50 | | |
| 会 場 | 北上文化プラザ | | |
| 参加団体 | 幸原町自治会 徳倉第1町内会 徳倉第2町内会 徳倉幼稚園 徳倉幼稚園PTA | 徳倉小学校 北上中学校 環境美化推進委員 体育振興会 民生委員・児童委員 三島市社会福祉協議会 | 北上地区地域包括支援センター 幸原子ども会 徳倉1丁目子ども会 徳倉2丁目子ども会 徳倉3丁目子ども会 徳倉4丁目子ども会 出席者:21名 |

■次第■

19:00

開会・市長あいさつ

1 「コミュニティ連絡会について」

2 「各団体からの情報発信」

3 「現在の状況と事例発表」

4 「ワークショップ」

5 「アンケート記入」



20:50

市長あいさつ・閉会

「みんなが繋がるまちづくり～笑顔あふれる地域の未来のために～」のまとめ

今回の連絡会の全体のテーマである「みんなが繋がるまちづくり～笑顔あふれる地域の未来のために～」を元に「三世代交流・居場所の活用」及び「見守りのある地域づくりに向けて」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、テーブルごとに意見交換をしました。

| | |
|--|------------------------|
| | 三世代交流・居場所の活用 |
| | 見守りのある地域づくりに向けて |



■グループ別のまとめ

1グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

- 昔ながらの街並みが残っており、のんびりしている。
- 道路が狭い上、交通量が増加傾向にある。
- スクールガードによる朝夕見守り。
- 子どもが増えている一方で、過疎地域もある。
- ゴミの分別がよくない。

■理想の目指す地域

- 子ども会活動や近所付き合いの活発化。
- 電柱の地中化などをし、歩道や道路を整備する。
- 小さい時からゴミの教育をする。

■具体的なアイデア

- 空いている建物などを活用し、交流活動をする。
- 地域コミュニティ協議会ができれば良い。
- 子どもが遊ぶことができる場所があると良い。
- 徳倉公民館に人を配置することで相談しに行くことができる。



2グループ

テーマ:三世代交流・居場所の活用

■地域の情報を共有

- 自治会、子ども会行事が盛ん。
- 日大生を活用したい。
- 道路や歩道が狭い。
- 集会所の機能が備わっていない。
- 若い子育て世代のお母さんたちは子育ての悩みを抱えている方が多い。

■理想の目指す地域

- 空き家の活用。
- 心の豊かさを育む。
- あいさつをする雰囲気づくりをする。
- 学校の施設を開放してもらいたい。

■具体的なアイデア

- 学校が地域の拠点にならないといけない。
- 大勢の人が見守っている雰囲気を作る。
- 地域を知ることができるように、地域を散歩する。
- 「一足、一手間、一声」の精神が大切。



3グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

- 良い点：朝夕にスクールガードが見守りをしてくれる。
老人会活動が活発。
地域のお祭りがある。
- 悪い点：スクールガードの活動時間帯以外の時間帯が心配。
災害時の声かけ。
地域に子どもの声が聞こえない。
新しい人が入ってこない。

■理想の目指す地域

- 1人世帯の高齢者や子どもを交えた交流をする。
- 近所の高齢者や子どもの情報を把握したい。
- 笑顔であいさつを交わすことができる地域。

■具体的なアイデア

- 公園が少ないので、近場に安心して集え、フラッと立寄ることができる場所がほしい。
- 自由に気楽に使用できるサロンづくり。
- 学校で週に1回程度高齢者と遊ぶ日をつくる。



4グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

- 良い点：スクールガードがいるので安心。
下校時の午後3時に見守りをしてくれる方がいる。
- 悪い点：スクールガードが減少している。
孤独死が発生している。
同じ地区で2つの小学校区に分かれてしまっている。

■理想の目指す地域

- 個々で見守る。
- 親や子ども同士の交流。
- 趣味のある人が地域を引っ張って欲しい。

■具体的なアイデア

- 小学校下校時は複数人で帰宅する。
- 1人暮らしの高齢者宅に回覧板を廻す際には声をかける。
- 異なる年齢同士の交流。
- 近隣とのコミュニケーションが必要。



5グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

- 民生委員と中学生がボランティア活動を盛んに行ってくれる。
- 地域行事が盛ん。
- 子ども会が敬老の日にお祝いをしている。
- 子ども会で廃品回収をしている。
- 幼稚園児が老人ホームに訪問している。

■理想の目指す地域

- 行事が多いので、それを継続していくことが大切。
- あいさつをし合い、あいさつができるようになれば顔見知りが増える。

■具体的なアイデア

- 子育て支援センターの充実化。そこに高齢者ボランティアを呼んで、利用者に声をかけてもらう。また、利用者が安心して使うことができるようにする。
- 寺子屋を維持しつつ、充実化を図る。

